

Partial Translation of JP 59-65338 U

...omitted...

2. Claim of Utility Model

A fluid heater in which an electric heater (1) around which a radiating fin (2) is spirally wound in a continuous manner is inserted into a metallic outer pipe (3) provided with an inlet (4) and an outlet (5) as shown in the drawings.

...omitted...

公開実用 昭和 59 — 1 65338

① 日本国特許庁 (JP)

実用新案出願公開

② 公開実用新案公報 (U)

昭59—65338

Int. Cl.³
F 24 H 1 10

識別記号

庁内整理番号
7233—3L

公開 昭和59年(1984)5月1日

審査請求 未請求

(全 頁)

流体加熱器

考案者 石津孝明

八尾市青山町1丁目1番56号

実願 昭56—58487

出願人 電熱工業株式会社

出願 昭56(1981)4月22日

八尾市老原9丁目134番地

明細書の浄書(内容に変更なし)

明 細 書

1. 考 案 の 名 称

流体加熱器

2. 実用新案登録請求の範囲

図面に示す様に、入口(4)、出口(5)を設けた金属製外装管(3)に放熱翼(2)を螺旋状に連続して巻詰めた電熱ヒーター(1)を装填した流体加熱器。

3. 考案の詳細な説明

従来の流体加熱器は、外装管が石英ガラス管で出来て居り、衝撃に弱い為破損しやすい上、流体が発熱体に直接当る為、塵埃や油脂分が付着してカーボン化して断線や熔断を起す原因になっていた。

この実用新案は、これらの欠点を無くする為に考案されたもので、図面に示す如く入口(4)、出口(5)を設けた金属製外装管(3)に、放熱翼(2)を螺旋状に連続して巻詰めた電熱ヒーター(1)を装填したものである。尚電熱ヒーター(1)は発熱体(6)が絶縁材(7)で固定され電氣的に安全で、通電用端子(8)を設けたものである。

実開59-65338 !

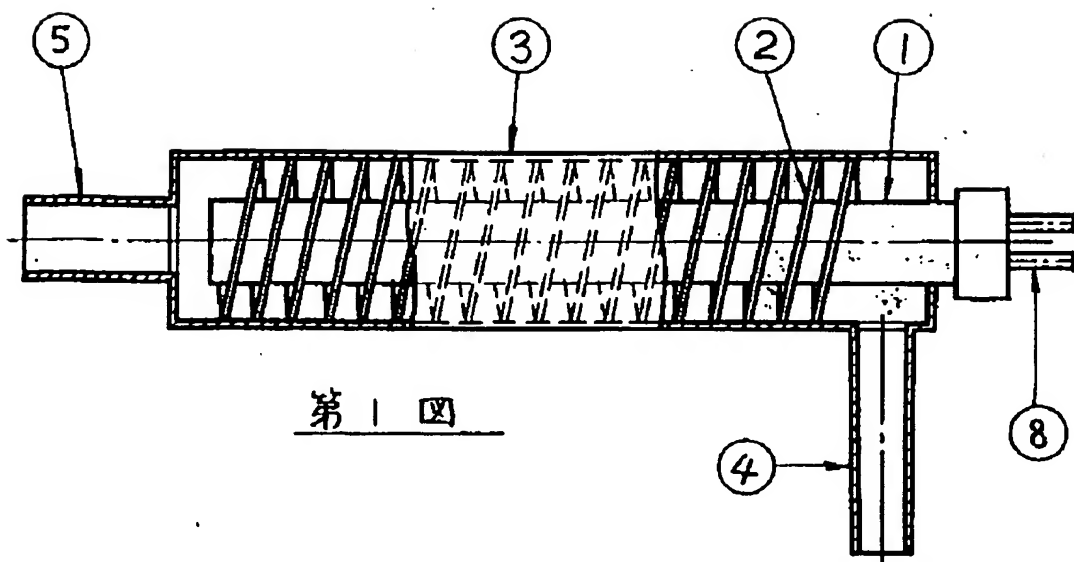
317

今入口（４）より流体を通すと、流体は螺旋状に連続して巻詰めた放熱翼（２）の間を電熱ヒーター（１）の内周方向に回りながら、出口（５）へと向う。この際流体は放熱翼（２）より放熱された熱量を効率良く熱量を奪うので高温度の流体を得る事が出来る。又電熱ヒーター（１）は発熱体（６）が絶縁材（７）で固定されている為電氣的に安全で、流体が発熱体（６）に直接当る事が無いので塵埃や油脂分が付着してオーバーヒートする事も無く、金属製外装管（３）である為破損の心配も無く曲加工も行う事が出来用途も広がるものである。

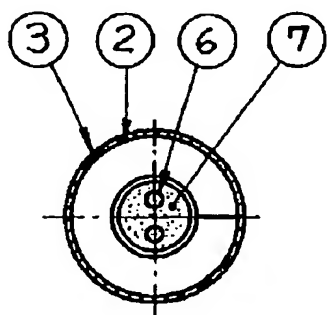


4. 図面の簡単な説明

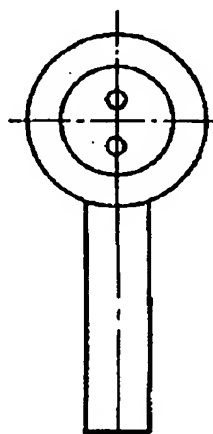
- 別紙図面中
- 第 1 図は全体をあらわす正面図
 - 第 2 図は側面図
 - 第 3 図は側面より見た断面図



第 1 圖



第 3 圖



第 2 圖

~~112340~~

実開59-65338

出願人 三浦靖和



310

400

BEST AVAILABLE COPY

手 続 補 正 書

~~昭和58年5月10日提出~~

昭和58年 4 月 25 日

昭和58年11月30日提出

特 許 庁 長 官 殿

1 事 件 の 表 示 昭和56年実用新案登録願

第58487号

2 考 案 の 名 称 流体加熱器

3 補 正 を す る 者

事 件 と の 関 係 実用新案登録出願人

住 所 大阪府八尾市老原9丁目134番地

氏 名 デンネツコウギョウ 電熱工業株式会社

代表取締役 ミ三 ウラ ヲス カズ
浦 靖 和



4 代 理 人

住 所

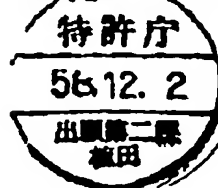
氏 名

5 補 正 命 令 の 日 付 昭和56年 7 月 28 日

6 補 正 の 対 象 願書、及び明細書

7 補 正 の 内 容 明細書の浄書

願書は別紙の通り



320

実開59-65338